



今に残る信仰と水辺の景観



彦根市、近江八幡市、高島市などとともに、日本遺産「琵琶湖とその水辺景観―祈りと暮らしの水遺産」に指定された大津市は、滋賀県南西部に位置しています。日本遺産の構成文化財となっている延暦寺や園城寺(三井寺)、石山寺など古くから信仰を集めた寺社が多く、水と祈りの文化が今も残っています。

比叡山延暦寺

日

# 本の源流再発見

File 9

滋賀県大津市

## 古代から連綿と続く水と祈りの文化

琵琶湖は豊富な水量をたたえる日本最大の淡水湖。古代から現代に至るまで人々の暮らしを支えてきました。古くから交通の要衝として栄え、周辺には多くの史跡がのこされています。

湖の西南岸地域に広がる大津市の西側、京都市との境にそびえる比叡山に、伝教大師最澄が延暦寺を創建したのは788年のこと。琵琶湖を理想郷とたたえ「天台薬師の池」に見立て、この地に建立したといわれています。鎮護国家のため、指導者となる「菩薩僧」を育成しようと教育制度を確立したことにより、延暦寺は、法然上

人、親鸞聖人、一遍上人、道元禅師など、多くの高僧を輩出しました。1571年、織田信長による全山焼き討ちにあい伽藍はことごとく焼け落ちてしまったものの、その後再興され現在に至っています。

延暦寺は、東塔、西塔、横川の3地域に分かれた広大な境内を持ち、多方面からアクセスできます。なかでも総本堂である国宝の根本中堂や大講堂、法華総持院東塔など重要な建造物が集まる東塔地域へは坂本から行く人が多いといわれています。根本中堂は現在大改修中ですが、参拝は可能です。



比叡山延暦寺

坂本は、延暦寺や日吉大社の門前町として古くから栄えた琵琶湖畔の町。至る所に「穴太衆積み」と呼ばれる石垣があり、独特の景観をみせています。穴太衆とは、安土桃山時代に活躍した石工集団。その技術は高く、自然



▲ 坂本ケーブル

1927年開業の坂本ケーブルは、全長2,025m、所要時間11分の日本一長いケーブルカー。両端の駅舎は、いずれも国の登録有形文化財となっています



▲ 瀬田川・琵琶湖リバークルーズ

「瀬田の唐橋」「石山寺」などの名所旧跡を楽しめるクルーズもあります（12～3月は休航）



▲ 瀬田の唐橋

「長橋」とも呼ばれ、古来京都へ通じる交通の要衝であり、「唐橋を制するものは天下を制す」といわれるほどでした。近江八景の一つ「瀬田の夕照」でも有名です



▲ 穴太衆積み

坂本の里坊（天台座主の許しを得た修行僧が住む隠居坊）に多く見られ、加工しない自然のままの石を巧みに積み上げた美しい石垣です

石の形を生かしながら、堅ろうで水はけも考慮された石垣を組み上げました。坂本には穴太衆の末裔による建設会社があり、その技術は今も傳承されています。

坂本から延暦寺へは車やバス以外に坂本ケーブルでも行けます。ケーブル坂本駅からケーブル延暦寺駅までは通常直通ですが、軌道上には信長の叡山焼き討ちによる犠牲者のために土地の人がまつたといわれる多数の石仏を安置した靈窟がある「ほうらい丘」駅と、紀貫之の墓が近くにある「もたて山」駅があり、乗車前に希望す

ば降りることもできます。

大阪を流れる淀川の水源、琵琶湖。滋賀県内では瀬田川と呼ばれている川にかかる「瀬田の唐橋」は、日本書紀にもその名を刻む由緒ある橋。現在の橋は1979年に架け替えられましたが、その美しい姿は往時の面影をとどめています。

ココに注目

坂本にある西洋軒の「石積みのパン」は、穴太衆の石積みを模した人気の菓子パン。3～8月はうぐいす餡、9～2月は栗餡が楽しめます。



日立グループ事業所紹介

今回訪れた大津市のある滋賀県には日立化成株式会社の彦根事業所があります。バックアップ用リチウムイオン電池や高強度樹脂ギヤ、プリント配線板用銅張積層板などの製造を行っています。

日立化成株式会社 彦根事業所 滋賀県彦根市川瀬馬場町800  
<http://www.hitachi-chem.co.jp/>